

漢方の待合室

No.20
2007 MAY

水虫のお話

■梅雨は水虫に注意

もうしばらくするとジメジメした日本の「梅雨・夏」 = 「水虫シーズン」本番に突入です。水虫の原因となるカビ「白癬菌」は他のカビと同様高温多湿な環境を好み、一般に湿度70%以上、温度15℃以上になると活発に増殖しはじめます。特に水虫のできやすい足の裏は、体の他の部分に比べると20～50倍以上汗をかく場所で、約10時間靴を履いていた場合、コップ約1杯分の汗が出るといわれるほどです。特に梅雨の季節は、空気中の湿度が高くなるので、ますます靴の中や足が蒸れてしまいます。

■水虫の予防 清潔・乾燥・通気

- ①靴を脱ぐ時間を極力多くして、その間は素足になり湿度を低く保つ
- ②足の裏・足指の腹・足指の間を毎日洗浄し、その後しっかりと乾燥させる
 - ※力を入れてゴシゴシ洗うとかえって足に傷が付くので注意
 - ※白癬菌などに対して抗菌的環境を保つため石けんは弱酸性のものを使用
- ③1日履いた靴は続けて2日履かない(2～3足をローテーションして毎日履き替える)
- ④きつい靴を避け、足の指先の血行を保つ(足もみ・青竹踏みなども良い)
- ⑤家族に水虫患者がいる場合、感染を防ぐため浴室の足ふきマットやスリッパなどの共有は避ける



複方新土槿皮チンキの成分

モクキンピ
木槿皮チンキ 安息香酸 サリチル酸 クロタミトン
(添加物として、エタノールを含有)

今日の中成薬

複方新土槿皮チンキ

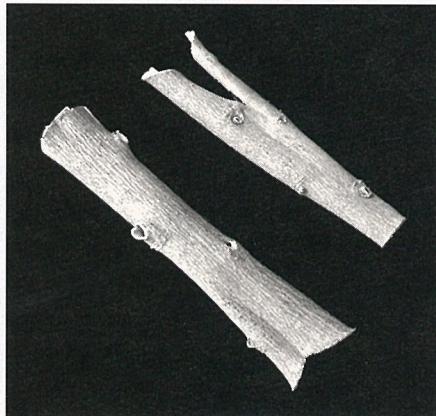
水虫、いんきんたむし、ぜにたむしに使用する。

複|方|新|土|槿|皮|チ|ン|キ|の|お|話|

複方新土槿皮チンキは、中国において白癬菌の治療に用いられている木槿皮を主薬とし、角質軟化作用と殺菌・防腐作用のあるサリチル酸と安息香酸に加え、不快な痒みを抑える作用のあるクロタミトンを配合しています。

● 木 槿 皮 ●

木槿皮は、アオイ科のムクゲ *Hibiscus syriacus* L. の樹皮の部分を乾燥したもので、ムクゲは落葉低木で、夏から秋にかけて赤・白・紫色のきれいな花を咲かせます。原産地は主に中国・インドで、日本へは奈良時代に渡来しました。学名の *Hibiscus syriacus* は、シリアのハイビスカスという意味で、日本でも万葉の時代から観賞



用に親しまれ、現代でも園芸用植物として人気があり、お隣の韓国では「国花」として愛されています。樹皮のアルコール浸出液には抗菌作用が認められており、水虫、たむし、疥癬に効果を示します。また、樹皮を煎じた液を胃腸カタルの下痢止めとして用います。この他にも、根・花・葉の各部分が薬用として使われます。